

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度			
事業番号	44	事業名	健康づくり教室事業		担当課		健康推進課			
					予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-2-3 健康づくり教室事業			
			(大事業名) 健康づくり推進事業		決算書ページ		152 ~ 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		事業開始の背景	健康増進法に基づき平成15年度に策定した「健康づくり計画」を推進するため、平成16年度から事業を開始した。その後、平成25年度に「健康づくり計画（第2次）」を策定し、継続して健康づくり事業に取り組んでいる。			
		政策	3	いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進						
		施策	(1)	市民の健康づくり						市民・民間事業者との連携協働の可能性
	その他	開始年度		平成16年度						
		終了予定年度		☐ 年度 ☒ 未定						
		根拠法令等		健康増進法						
	関連計画		長久手市健康づくり計画							
	アウプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）				
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)		
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 6万人 【事業内容】 健康づくりへの関心を高め生活習慣の改善を目的として、運動体験できる教室や健康に関する正しい知識の普及を行う講座を開催します。		【アクションプラン指標】 健康講座ののべ参加者数【単年】 【その他の指標】 運営に携わる機関数		幅広い年代の健康づくりの取組を支援することで、市民が自分の健康に関心を持ち、自ら健康づくりに取り組む人が増える。 (成果指標名) 市民アンケート「健康を意識した生活をしていると思う」の該当率（20歳以上）		大 事 業 共 通 市民の生涯にわたる健康の保持増進を図り、健康寿命が延伸する。		

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度		
		1	【アクションプラン事業】	人	基準値	1,520	見込	500	600	625	650	675		
			健康講座ののべ参加者数【単年】		目標値	500	実績	732						
		2	【その他指標】	機関	基準値		見込	10	12	12	12	12		
			運営に携わる機関数（のべ）		目標値		実績	11						
		3			基準値		見込							
					目標値		実績							
		4			基準値		見込							
					目標値		実績							
		エピソード	事業開始からの経緯											
			平成25年度に策定した「健康づくり計画(第2次)」に基づき、基本目標である「健康寿命の延伸」を達成するため、食事、運動、歯の健康、たばこ・アルコール、こころ、健康管理の6つの領域別に課題を整理して健康づくりを推進している。健康づくり教室への参加を通して、健康への関心を高め、自ら健康づくりに取り組む人を増やすため、幅広い年代を対象にして健康づくり教室や講座を開催している。また、他課や三師会、市民団体、協定先企業など、関係機関と連携して事業を実施できるよう取り組んでいる。											
			R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	・ 市民団体である「食と健康を考える会」が運営に携わった。 ・ そのほか、歯科医会、薬剤師会、歯科衛生士会、協定先企業など関係する機関と連携して、幅広い世代に対して健康づくりの教室を実施できた。 ・ 体成分分析装置測定会99人、ゲートキーパー養成講座103人、健康測定会169人、歯科健康教育342人、朝食講座19人の参加があった。 ・ 保育園長児に対する歯科健康教育を歯科衛生士会の協力を得て実施し、園側からの要望もあり、令和6年度も継続実施する予定である。													

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		市民アンケート「健康を意識した生活をしていると思う」の該当率（20歳以上）	%	年度		年度		【現状】 R5 年度		R10 年度		R15 年度		
								74		80		85		
		成果達成状況				指標目標値の根拠								
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				20歳以上の成人全体では74.2%であるが、年代別で最も高い60歳代の現状値84.5%を成人全体の目標値として設定した。							
	評価の理由、分析													
	市民全体の健康度をはかる指標としては「健康寿命」があるが、健康づくり計画の評価のために行う市民アンケートで、主観的健康観や健康を意識した生活をしているかを調査し、健康を意識する人を増やして、生涯にわたる健康の保持増進を図っていく予定である。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度中に策定する健康づくり計画（第3次）に基づき、幅広い世代に対して健康づくりを推進して、生涯にわたる健康の保持増進、健康寿命の延伸を図っていく必要があるため。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											

R7年度の費用（R6年度比）		（単位：千円）		R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度	
A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止	事業費		予算	予算	決算	予算	決算
				511	508	404	497	312
理由		特定財源	合計額	69	35	44	42	5
令和6年度中に策定する健康づくり計画（第3次）に基づき、幅広い世代に対して健康づくりを推進して、生涯にわたる健康の保持増進、健康寿命の延伸を図っていく必要があるため。			（内 国費）	32				
			（内 県費）	37	35	44	42	5
			（内 諸収入）					
			（内 その他）					
積算額		一般財源		442	473	360	455	307
		R6年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R5年度予算額）＞						
健康教育講師等報償金 183千円 食生活改善事業委託 130千円 健康づくり教室事業委託 198千円		健康教育講師等報償金 183千円（180千円） 食生活改善事業委託 130千円（130千円） 健康づくり教室事業委託 198千円（198千円）						